

くじゅう黒岳地域の植物



エドヒガン (4月)

黒岳の春は一足遅れてやって来ます。早春、萌芽前の林床にはやわらかな春の陽光があふれ、一年のこの時期だけを待ち続けたエフェメラル（短命な）の植物たちが花を咲かせます。

5月になると、岩場にはツクシシャクナゲやヨウラクツツジなどが花を咲かせ、黒岳は花を愛でる登山者にぎわいます。



ユキワリイチゲ (3月)



シロバナエンレイソウ (4月)



ツクシシャクナゲ (5月)



ヨウラクツツジ (5月)



冬木立 (1月)

色鮮やかだった山容も冬の到来とともに一変し、その名のごとく黒一色に変わります。黒岳の一番静かな季節。

木々は芽を固め、厳しい冬の風に耐え、草々は冷たい土の中に花芽を抱き、暖かい春の訪れをじっと待っています。



ブナに着生するアカミヤドリギ (1月)



ツルシキミ (12月)



カントウマユミ (11月)



冬のコナラ林 (2月)



ブナの巨樹 (8月)

木々は日に日に緑を深め、登山や森林浴に訪れた人々に安らぎを与えてくれます。黒岳をおおう森林は、そのほとんどが落葉広葉樹林。登山道の至るところで、ブナやオヒョウなどの圧倒されるような巨樹に出合います。



ワタナベソウ (7月)



ツクシガシワ (8月)



オオヤマレンゲ (6月)



ウスバヒョウタンボク (7月)



オオキツネノカミソリ (8月)



黒岳の紅葉 (10月)

秋の深まりとともに黒岳は赤や黄色の色鮮やかな山容へと変わっていきます。黒岳の秋を彩る紅葉の代表はコハウチワカエデやコミネカエデ、ブナやアカシデなどです。

森の中ではコバノガマズミやヤマシャクヤクの色鮮やかな赤い果実がそれに彩りを添えています。



コバノガマズミ (9月)



コハウチワカエデの紅葉 (10月)



ベニドウダンの紅葉 (10月)



ヤマシャクヤク (10月)